

松本市内の戦争遺跡めぐり 6月1日（日）

松本第一高校、松本深志高校、松本美須々ヶ丘高校の生徒含め、計14名が参加

【参加生徒の感想抜粋】

- ・信州大学のレンガの建物は、シベリア出兵、日中戦争、太平洋戦争などに関わった第50聯隊の食糧保管庫などに使用されたことを知り、歴史を振り返ることが興味深いと思った。レンガの積み方や種類によって歴史がわかり、面白かった。
- ・護国神社を見学し、戦争で亡くなった方々の慰霊や平和への願いが込められていると実感した。
- ・美須々公園は、家が近くよく遊んだ所だが、まさか旧陸軍墓地だったなんて思わなかった。慰霊碑や石灯籠があり、ここはただの公園ではなく、戦争の記憶をとどめる特別な場所であることを知った。
- ・約30メートルの大忠霊塔が建設予定だったと聞いたことが印象に残った。多くの人に戦争が身近にあった事実を知ってほしい。

【活動の様子】

